

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

- 02-03 介護サービスセンターの紹介 04 第2回認知症県民公開講座を開催して 05 ご長寿のお祝い・孝心の里 敬老会  
06 第44回 友朋会 秋まつりを終えて 07 九州精神保健学会に参加して・ふれあい看護体験報告  
08 平成25年度 防災訓練を終えて 09 第1回嬉野リレーマラソンに参加して  
10 佐賀県医療マネジメント学会・平成25年度佐賀県交通安全功労賞受賞 11 地域連携室通信 12 診療予定表



# 友朋会 介護サービスセンター

嬉野インターから市内に向かって車で約3分、医療法人財団 友朋会の正面入口左手にある平屋の建物が「友朋会 介護サービスセンター」です。

居宅介護支援事業所「しんあい」、訪問看護ステーション「まごころ」、訪問介護事業所の3つの事業所が入り、在宅サービスを提供しています。

以下、各事業所について簡単に紹介いたします。

## 居宅介護支援事業所「しんあい」



居宅介護支援事業所しんあいは「住み慣れたまちで安心して暮らすためにみんなで支える安心介護をサポートいたします」をキャッチフレーズに、介護保険が始まった平成12年から在宅支援のサポートを行っています。

しんあいは、介護保険に関わる相談や介護保険サービス利用のお手伝い(ケアプランの作成)を主な業務としており、現在の職員は5名、うち3名が主任介護支援専門員資格を持って相談等に従事しています。

ご自宅やご近所で介護について困っていらっしゃる方はおられませんか？

1人で悩んだり心配したりしないで、一度しんあいへご相談ください。

精一杯サポートさせていただきます。

電話番号:0954-20-2531





## 訪問看護ステーション「まごころ」

まごころは、友朋会 介護サービスセンター棟の右端(佐賀銀行ATM側)に位置しています。地味な事業所と思われるかも知れませんが、利用者様に「明るさと元気!」を届けられる様にスタッフ4名で協力し合い、日々前向きに頑張っています。

訪問看護とは、病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように訪問看護師が生活の場へ訪問して看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスです。

- 対象者：小児から高齢者まで年齢は問いません。病気の制限もありません。  
ただし車で片道30分以内の地域にお住まいの方となります。
- サービス内容：病院と同じケアを自宅で行ないます。  
全身状態の観察(体温・脈拍・血圧)、内服薬管理・指導、創処置、点滴吸引、在宅酸素・人工呼吸器の管理、カテーテル管理、清潔援助など
- 営業日：平日の8:30~17:00(第1土曜日のみ8:30~12:30)  
利用の流れ：医療保険・介護保険を持っておられればOKです。  
訪問看護師が勝手にケアを提供する事はできないので、かかりつけ医が必要性を認めた場合に訪問看護指示書を発行され、その指示に基づきケアを実施します。

電話番号：0954-43-1941

## 友朋会 訪問介護事業所



訪問介護事業所の場所は、介護サービスセンター棟の中でまごころと居宅介護支援事業所しんあいの間に位置しています。スタッフ4名で、日々在宅生活で不自由さを感じ困っておられる方のお手伝いを行なっています。

- 対象者：介護保険対象者、精神障害・知的障害・身体障害の方など。  
主な営業地域は嬉野市内です。
- 営業日：8:30~17:00(年中無休です!)
- サービス内容：生活援助・身体介護  
例えば…「身体が不自由になり掃除ができないので家の中が汚くなり困っている」「買い物に行けず食事の準備も出来ない」「最近、薬を飲み忘れることがある」「お風呂に入るのが難しくなった」等の対応をしています。

ご近所に「訪問介護サービスを受けた方が良いのではないか…」と思われるような方が居られましたら、是非ご紹介下さい。

電話番号：0954-43-5035

※各サービスについては友朋会 嬉野温泉病院(電話0954-43-0157)にお問い合わせ頂くか、直接事業所へ連絡頂ければ詳しく説明致します。



## 第2回認知症県民公開講座を開催して

平成25年9月21日に武雄市文化会館にて「第2回認知症県民公開講座」を開催し396名の方々に参加していただきました。

この講座は、平成23年に佐賀県に設置された県内4か所の認知症疾患医療センターが県民の方々に認知症に関する正しい知識を学んでいただき、認知症の人に対する理解を深めていただくことを目的として開催するものです。



今回は、地域で支えよう認知症の人たちを

～まずは認知症を知りましょう～ をテーマに開催しました。

特別講演では、佐賀大学医学部精神神経科教授の門司晃先生より「認知症とはどんな病気？～治療は？予防法は？」と題して、認知症の症状や予防法などを講演していただきました。

専門的な話もあり参加者からは「難しかったけど勉強になった」とのご意見を多数いただきました。

にわか劇「こんな時どうする？」では、認知症の方への接し方をよく見かける対応と模範的な対応の2通りを演じていただき、笑いながら学んでいただくことが出来ました。

最後に、当院の中島秀人師長より家族が認知症になった場合の家族のあり方や介護を実践する上で必要な情報をわかりやすく説明するミニ講座と充実した講座内容となりました。

県民の方々の認知症に対する関心の深さをあらためて感じる1日となりました。

今後もみなさんの役に立つような研修会の開催を企画していきたいと思えます。ご意見やご要望があらわれましたら、是非、認知症疾患医療センターへご連絡下さい。

電話番号:0954-43-0003 担当:廣瀬



ゆうあい一座による、にわか劇の場面



# ご長寿のお祝い



9月9日(月)  
南西1病棟:宮崎ツマ様

9月13日(金)  
朋寿苑:古賀チヨ様

9月13日(金)  
朋寿苑:中島フヂ様

9月25日(水)  
朋寿苑:松尾コト様

以上の皆様のご長寿を祝い、安部晋三内閣総理大臣からの記念品贈呈式が行われ、当会の中川龍治理事長からも御祝いの花が送られました。  
職員一同心よりお慶び申し上げます。今後もお元気で長生きして下さい。

## 孝心の里 敬老会

9月14日(土曜日)孝心の里において敬老会を開催致しました。

平成21年10月の開設から4回目の開催となり18名の登録者のうち16名の方に参加して頂きました。登録者のご家族や運営推進委員の皆様にも参加して頂きボランティアによる祝舞、職員が利用者様別に考えた表彰状や記念品を渡し、余興として職員による踊りや利用者様による手話、歌、フルート演奏等の披露など全員で利用者様のご長寿をお祝いしました。

93歳の女性が最高齢で90歳以上の方が4名、米寿の方が2名おられますが、皆様しっかり自分の足で歩行されています。

日々の活動として実施している陶芸療法や回想法で制作した作品を展示し、利用者様やご家族に鑑賞して頂いたところ、ご家族はその出来栄に驚かれていました。作品はそれぞれご自宅へ持ち帰って頂きました。利用者様の喜ばれる姿に、来年の敬老会でもお祝いできる様、職員一同祈念しております。



孝心の里 所長 宮崎 弘子



# 第44回 友朋会 秋まつりを終えて

大会運営委員長 リハビリテーション科 山下 慎一

平成25年10月19日に友朋会のグラウンドにて、「第41回友朋会秋まつり」が開催されました。名称を「友朋会大運動会」から「友朋会秋まつり」へ変更して2度目の企画となりました。

さて、秋まつりの準備は今年の1月にスタートし、今回は、佐賀県警察音楽隊による演奏と職員がグラウンドで食べ物を調理するという企画を目玉とし準備してきました。9月に入ると、準備も慌ただしくなり、各スタッフと連絡を取らない日はない毎日でした。しかし、準備段階の苦労や大変さについて歴代の委員長にお聞きすると、今は随分と円滑に準備が進み、各スタッフの負担は減っている事を教えて頂きました。「友朋会大運動会」の長い歴史の中で、現在のような体制が築かれてきたのも理事長をはじめ、顧問並びに各部署責任者の方々の理解と協力、歴代の委員長の活躍のおかげである事を肌で感じる機会となりました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

そして、秋祭り当日となり、小雨がぱらつく中の開催となりました。午後のプログラムを午前に繰り上げるなどの変更やトラック競技を急遽入れていくなどの対応もあり、運営側としては非常に慌ただしく過ぎていきました。しかし、参加者の方々がケガすることなく、転倒や救護室の使用もなく無事に終えたことは何よりも「ホッ」とした事でした。また、参加されている方々の表情も良く、楽しまれている様子でした。

今後も「友朋会秋まつり」が「地域の架け橋」となるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さまのご協力とご理解の程、宜しくお願い致します。



佐賀県警察音楽隊 今村楽長以下19名の皆様による演奏



# 九州精神保健学会に参加して

リカバリーセンター 山下 美里

11月7・8日鹿児島県にて開催された第59回九州精神医療学会に参加させて頂きました。学会では、5つのセッションに別れ精神医療及び精神保健福祉領域における事例や研究などの発表がありました。印象深かったのは多国籍患者の事例でした。文化や生活面の違いと共に価値観の相違について認識することや言葉の背景を把握することの難しさがあると感じました。

8日の午後、「精神科訪問看護場面における自己決定についての考察」の演題で口頭発表をしました。理事長をはじめ西1病棟看護師の松林さんをフロア内で確認すると緊張感が徐々に安堵感へと変わりました。座長からの質問があり、十分な回答ではなかったかもわかりませんが無事に発表を終えることができました。

また、松林さん、峰下師長、地域生活支援科の山田主任と共に天文館で黒豚と白熊を頂き鹿児島の味を楽しむ事もできました。

今回、学会の場で発表という貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



## ふれあい看護体験報告

報告者: 富永 一喜

7月25日(木)に東2・3病棟においてふれあい看護体験を実施しました。今年は武雄高校5名、鹿島高校2名、嬉野高校1名、敬徳高校1名の計9名が参加されました。参加者全員が将来看護師又は医療従事者を目指している方々であり、施設見学や説明に対してもメモを取るなど、真剣に取り組む姿勢が見られました。また、病院の設備や器具、看護師以外の職種など、様々な事にも関心を持たれており、多くの質問もありました。

患者・看護体験においては、高齢者体験や飲水体験、バイタルサイン測定、足浴などを体験して頂きました。実際の看護場面で器具類に触れる事、患者さまと直接ふれあう事での多くの学びや、感動があったようです。

短時間の看護体験ではありましたが、体験後のレポートやアンケートでは「看護師の仕事は大変であるが、やりがいのある仕事で、更に看護師(医療職)への関心が高まった」との意見が多く聞かれました。

今後もふれあい看護体験を通し高校生を受け入れることで、病院での仕事や看護師の仕事に対する関心を高めることに繋げて行きたいと思っております。



足浴



バイタルサイン測定



高齢者体験

# 平成25年度 防災訓練を終えて

南西1病棟 早田 隆子

平成25年度の防災訓練が9月2日南西病棟を主体に実施されました。

今年は全国的に豪雨災害や土砂災害が増えており、当会も嬉野市の土砂災害危険箇所が含まれていることから南西病棟西側裏山に土砂崩れの兆候があり、避難の必要性が生じたとの想定で土のう積みと避難訓練を実施致しました。訓練予定時間になって心配されていた雨が降り始め 急遽、避難場所の変更もありましたが理事長の指示のもと職員皆様の協力で、充実した訓練を実施する事ができました。最後に消防署の職員の方より『避難する場合、情報をしっかり収集し、懐中電灯や携帯ラジオなど用意し河川と直角に避難して下さい。単独行動は絶対しない事です。各自治体からの避難命令が出されますが危険を感じたら直ちに避難する事です。日頃から災害に対してどの様にするのか考えておく事が患者さんを守る事に繋がると思います。今後も一層訓練に励まれ、有事に備えて貰えればと思います。』とのご指導を頂きました。

このように当会では防災訓練の中で初めて土のう積みの訓練に取り組みました。

感想の一部をご紹介します。



## 土のう積訓練の感想

西2病棟 白川 進

現場の指示者は応援スタッフが集まり始めると、土のう作り担当スタッフと連携し応援者を20名ずつに分けて作業方法を簡潔に説明されていました。また、「5袋作ったら交代して下さい」など疲労と効率を考え指示が行われていました。土のうの運搬はスタッフの間隔を開け、順次リレーで手渡しにて行いましたが、慣れていないスタッフ、また女性職員も多かった事から最初は滞りました。

しかし、次第に慣れるとスムーズに出来ました。土のう積みの現場では指示者がアドバイスを行い早く出来ていましたが積み方の説明は最後まで継続して行った方が良かったと思いました。また、運搬のスタッフに余りがあり、更に増える場合にはそのスタッフは患者さまの避難を第1に考え避難誘導に回す等の指示も必要であったかと思えます。強い雨になりましたが職員の皆さんは終了の指示があるまで手を休めず責任感を持って取り組まれていました。





# 『第1回42.195km嬉野SPA リレーマラソン2013』に参加して

～キーワードは『連帯感』～

本部事務所 松本 敦子

「昨日は晴れて夏の陽気だったのに、意地悪な雨だなぁ。」これが当日の朝でした。

平成25年9月29日、『第1回42.195km嬉野SPAリレーマラソン2013』が嬉野市みゆき公園にて開催されました。

ここでちょっとリレーマラソンについてご紹介致します。『チームで42.195kmを走りきろう!』を目標に襷をリレー形式でつなぎ、完走を目指すマラソンで1周2kmのコース×21周+195m=42.195kmを1チーム4名以上10名以内で走る競技です。

地元開催の大会ということで、当会より吉本副院長を中心に7チームが出場しました。

心配していた雨もスタートの午前10時には止み、暑くもなく寒くもないベストコンディション。

スタートのカウントダウンがはじまり、走りもしないタイムキーパーの私でしたが、鼓動が早くなっているのを感じました。無論、ランナーはそれ以上。あるランナーの独り言です。「走り始め、いつも“なんでエントリーしてしまったんだろう…”と思うよ」。

スタートして次々とタスキリレーが行われる中、当院のあるチームの一人は襷リレーせず6km完走し、倒れそうに。また、あるチームは1名が病欠のため一人で6回(12km)走った選手もいました。

次々と襷が繋がれラストランナーがスタートすると、チームメイトはそろってゴール地点へ向きます。残り数メートルのラストランはチーム全員そろってのゴールイン。そこには達成感一杯の笑顔と『連帯感』が生まれます。これが病院での『チーム医療』に繋がっていくのだと思いました。

今後もリレーマラソン出場のある機会があると思います。リレーマラソンでは、「走っている人」「待機している人」「応援している人」みんながチームメイトとなり『チームの絆』が生まれます。これが友朋会の大きな輪となっていくことを願います。



# 日本医療マネジメント学会

## 第12回 佐賀支部学術集会 in 嬉野

日時

平成26年2月22日(土) 13:00~18:30

会場

医療法人財団 嬉野温泉病院 〒843-0301  
友朋会 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙 1919 番地  
\*参加費は1,000円となります。当日、受付にてお支払いください。(学会員は無料)

### メインテーマ 患者・家族・社会が求める医療マネジメント

#### ■ シンポジウム 「患者・家族が望む認知症地域連携のあり方」

##### 基調講演

熊本大学大学院 生命科学研究部 神経精神医学分野 教授 池田 学 先生

シンポジスト (順不同) 医療法人天心堂 志田病院 理事長・院長 志田 知之 先生  
認知症のひとと家族の会 佐賀県支部 代表 森 久美子 先生  
鹿島市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 田島 まり子 先生  
嬉野医療センター 地域連携室 看護副部長 田中 成子 先生

##### ■ 一般演題

病院管理、病院経営、クリティカルパス、医療安全、医療連携、NST  
救急連携、病院感染、その他医療マネジメント全般

##### ■ クリティカルパス・ポスター展示発表 (13:00~17:00)



医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院  
日本医療マネジメント学会  
第12回佐賀支部学術集会事務局  
TEL: 0954-43-0157 FAX: 0954-43-3440  
E-mail: img.saga@yuhokai.com  
お問合せ(事務局) 相川・針尾

## 平成25年度佐賀県交通安全功労賞受賞

友朋会 交通委員会委員長 安全運転管理者 中山 智二

10月29日(火曜日)当会は平成25年度佐賀県交通安全功労賞を受賞しました。

交通安全功労賞とは、県内で交通安全啓蒙活動に貢献された、個人、事業所に与えられる賞であり、今年度は個人10名、事業所1ヶ所が受賞され、事業所としては、唯一友朋会が受賞致しました。

この受賞は、病院出入口及び町内3カ所の交差点で、平成10年から年に4回「交通安全県民運動」期間中に行ってきた交通立番活動や、一般ドライバーを対象とした交通安全啓蒙活動を高く評価していただいた結果だと思えます。

表彰式では佐賀県警察本部長祝辞の中で、交通事故死亡者数について、現在はピーク時(昭和46年頃)の4分の1まで減少している事、しかし、昨年も全国で4千数百人、県内でも40人以上の方が交通事故で尊い命を亡くされたこと、事故を無くす為には地域全体で、交通安全に取り組む事が効果的であることを述べられました。個人的にも、地域に根ざした活動を行っている事が、地域全体の交通安全意識向上に役に立っていると思えます。

今回の受賞に満足せず、今後も交通安全に対する啓蒙活動を継続していくと共に、友朋会が地域社会に役立つ事業所であるよう継続して交通安全啓蒙活動を行なっていきたいと思えます。



# 地域連携室通信

寒気日増しにつのり、冷え込みの厳しい季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。今回は外来医療費の負担軽減となる自立支援医療(精神通院)制度についてご紹介したいと思います。

## <主な内容>

自立支援医療(精神通院)制度は精神疾患で、通院による精神医療を続ける必要がある病状の方に、通院のための医療費の自己負担を軽減するものです。

申請して認められると、「自立支援医療受給者証(精神通院)」と「自己負担上限額管理票」が交付されますので指定医療機関・薬局等において提示すると、認定された通院医療費にかかる医療費の自己負担額が10%となり、月額の上限額が設定されます(上限額は世帯により異なります)。なお、提示されない場合は通常の診療扱いになります。

所得区分	生活保護世帯	市町村民税非課税世帯		市町村民税(所得割)世帯		市町村民税(所得割) 23.5万円以上
	生活保護	本人収入 80万円 以下	本人収入 80万円以上	3.3万円 未満	3.3万円~ 23.5万円未満	
自己負担 上限月額	0円	2,500円	5,000円	1割負担		対象外(3割負担)
				※高額治療継続者「重度かつ継続」に該当		
				5,000円	10,000円	20,000円

※重度かつ継続とは・・・

- (1)統合失調症、躁うつ病・うつ病、てんかん、認知症等の脳機能障害、薬物関連障害(依存症等)
- (2)3年以上の精神医療の経験を有する医師により、「情動及び行動の障害」又は「不安及び不穏状態」の病状を示す精神障害のため、計画的・集中的な通院医療(状態の維持、悪化予防のための医療を含む)を継続的に要すると診断された方(1)、(2)のいずれかに該当した場合に認定されます。

## <対象者>

精神疾患や障害のために日常生活や就労に支障があると認められ、通院による精神医療を継続的に要する程度の病状の方が対象となります。(所得や疾病によってはこの制度の対象にならないこともあります。)

## <申請の方法>

申請窓口は、居住地の市町村です。申請には申請書、診断書(定まった様式)、健康保険証、課税証明関係書類(年金支払通知等)及び印鑑が必要です。(当院でも代行申請ができます)

なお、診断書については、更新申請かつ治療方針の変更がない場合に限り、2年に1度の提出でよいこととされています。

ご不明な点は、お住まいの市区町村または当院の精神科地域連携室へお尋ねください。

# 友朋会の理念 『患者さまのために』

## 基本方針

- 1 患者さま一人ひとりの立場になって、提供すべき医療・福祉を考え実践する
- 2 愛情のある医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 患者さまの退院支援・生活支援・就労支援において更なる向上を図る
- 4 芸術療法を実践する
- 5 治療空間としてアメニティーを重視する
- 6 地域に必要とされる医療を実践する
- 7 認知症への取り組みにおいて地域のリーダーとなれるよう努力する
- 8 児童・思春期の精神医学分野においてその専門性を高める
- 9 院内におけるチーム医療および地域の関係諸機関との連携を強化する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

## 職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さまの自己決定権を尊重する
- 2 患者さまが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さまがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さまに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さまに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さまに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さまの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さまの尊厳を保つ
- 9 患者さまの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さまの個人情報を守る

## 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

\*診療時間 ◎月曜～金曜

◎午前の部/8:30～12:30(第1土曜 8:30～12:30) ◎午後の部/13:30～17:00 ※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

\*休診日/第2・3・4・5土曜、日曜、祭日、年末2日、年始3日間

\*予約診療/待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。ただし、新患、急患の場合は随時受け付けます。

平成25年11月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土	
精神科	新患	精神科一般	菅高 谷口	三根 吉本 稲葉	谷口 菅高	富松 奥 三根	奥 富松 稲葉	担当医
		もの忘れ	吉本・中山	松尾・中山	田中	松尾・田中	吉本・松尾	
		思春期	富松・三根・菅高					
	再来	富松 松尾	田中 谷口	中山 奥	吉本 中山 稲葉	三根 菅高	予約者のみ	
内科		榎	竹下	岡本	林原・榎		非常勤医師	
泌尿器科	午前	倉富	江原	倉富	江原	倉富	予約者のみ	
	午後	事前連絡	事前連絡	事前連絡	事前連絡	事前連絡		
透析センター		江原・井上	江原・井上	江原・井上	江原・井上	江原	井上	
眼科		崎戸(13時～)		崎戸(10時～)		崎戸(10時～)		
整形外科						非常勤医師 (11時～)		
皮膚科							非常勤医師 (第1・3日診療/第2・4日午前診療)	

\*眼科の診療時間 ◎月曜日 午後のみ13:00～17:00 ◎水・金曜日 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00



### 医療法人財団 友朋会

〒843-0394  
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919  
電話:0954-43-0157  
FAX:0954-43-3440  
E-mail:info@yuhokai.com  
URL:http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
  - 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
  - リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
  - 老人デイケアセンター 0954-43-0233
  - 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
  - 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
  - グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
  - 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
  - 地域連携室 0954-43-0255
  - 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
  - ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151
- 〒815-0082 福岡市南区大橋2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F